

地区協議会 議長 殿
都道府県空手道連盟会長 殿
競技団体空手道連盟会長・部長 殿
協力団体（会派団体）会長 殿
友好団体 会長 殿

公益財団法人全日本空手道連盟
会長 笹川 堯



通 知

—オリンピックを目前にして—

2020年東京オリンピックの空手競技採用が、8月リオで開催されるIOC総会で決定します。いまこそ空手人はこぞって「礼と節」の精神と行動を鮮明に示す時です。

指導者の不祥事、事故やハラスメント、選手選考や登録に関わるトラブルなど管理運営に携わる方々の細かな気配りによって民主的な組織運営を徹底していただきたい。

—中学校空手道授業について—

平成24年から完全実施されている中学校武道必修化で空手道授業を実施しているのは、全国で31都道府県であり、まだ実施されていない県が16県あります。加盟各団体においては、今年は未実施県ゼロを目指し多くの中学生が空手道に触れる機会を増やしていただきたい。中学校の正課体育で空手道が採用されているということが、今後の空手道の振興発展にとって大変重要なことでもあります。

全空連は、文部科学省の「中学校学習指導要領」の中に柔道、剣道、相撲については表記されているものの「空手道」の表記がない事が授業実施の障害になっていることを指摘し、空手道を明記するよう文部科学省に強く申し入れています。

—外国における空手指導について—

いまや空手道は、世界各国に普及し、国際交流を通じて世界平和の実現、青少年の育成に多大の貢献をしている。このことは過去・現在に亘って我が国の空手指導者が海を渡り、蒔いた種が花開いているものであり、全空連としても感謝しているところであります。

しかし、昨今の海外情勢は決して相互の信頼関係だけでは済まされないものがあります。今後海外に空手指導に行く指導者におかれては、渡航先の大使館にワーキングビザが必要であるか必ず確認をするとともに治安・疾病情報を収集し、万全を期して空手道の普及・指導にあたっていただきたい。